授業科目名・形態	情報リテラシー　　演習	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	宮崎　航	実務経験の有無	無	開講期	1年前期
科目ナンバリング	C1-1017ht				

【授業の主題】

情報リテラシーは「情報を適切に判断し、情報を通じて決定を下す能力」のことです。情報化社会とされる現代社会においてICT機器およびネットワークの操作は必須となるスキルであり、医療・福祉関連データの利活用においても基礎的なスキルとなります。本演習ではICTに関しての基本的な技能、知識、マナーを学び、社会で求められる情報セキュリティやコンプライアンス等を身に付けるとともに、大学での学習に必要不可欠なICTスキルを修得します。

【到達目標】

1. ICT機器を使用して、レポート課題や関する情報収集やオープンデータの検索ができること。
2. ICT機器を使用して、レポート作成と提出ができること。
3.表計算や統計アプリケーションを使用して、データを整理･解析し、図表等による可視化ができること。
4.プレゼンテーションソフトを使用して、情報・意見の表現ができること。
5.インターネットやSNSなどを通じた情報公開時のセキュリティ知識やコンプライアンスを理解すること。

【授業計画・内容】

第 1 回	オリエンテーション	～現代社会における情報リテラシーとAIリテラシー～
第 2 回	データサイエンスの基礎1	～ビッグデータを活用した社会変化とデータ駆動型社会～
第 3 回	データサイエンスの基礎2	～社会における新たなデータ活用～
第 4 回	情報セキュリティ	～情報漏洩対策と個人情報保護～
第 5 ～6回	データサイエンスの応用	～生成AIの仕組み、その利用と注意すべき点～
第 7 ～8 回	表計算ソフトウェアによるデータ処理	～数式の使い方と相対参照・絶対参照の理解～
第 9～10 回	表計算ソフトウェアによるデータ処理	～数式の使い方と相対参照・絶対参照の理解～
第11～12回	表計算ソフトウェアによるデータ処理	～関数の使い方：数学関数～
第13～14回	表計算ソフトウェアによるデータ処理	～関数の使い方：論理関数～
第15～16回	表計算ソフトウェアによるデータ処理	～関数の使い方：複数関数を使ったデータ整理～
第17～18回	表計算ソフトウェアによるデータ処理	～データ解析手法：グラフによるデータの可視化～
第19～20回	表計算ソフトウェアによるデータ処理	～データ解析手法：ピボットテーブルとピボットグラフ～
第21～22回	プレゼンテーション技術	～プレゼンテーション方法　発表の流れとわかりやすい表現方法～
第23～24回	プレゼンテーション技術	～プレゼンテーション準備～
第25～26回	プレゼンテーション技術	～プレゼンテーション発表～
第27～28回	文書作成ソフトによるレポート作成	
第29～30回	文書作成ソフトによるレポート作成	

【授業実施方法】

1.講義または演習形式で行います。
2.Microsoft office 2016以降がインストールされたPCを準備ください。※学内PC教室設置端末の利用が可能です。
3.課題提出にはGoogle Classroomを使用致します。

【授業準備】

授業の空き時間などを利用して、授業中に出された課題を復習してください。

【主な関連する科目】

基礎・専門を問わず演習、実習系科目すべてに関連します。

【教科書等】

木野富士男著：アカデミックスキルとしてのICT活用　技術評論社

【参考文献】

岡嶋裕史、吉田雅裕監修：はじめてのAIリテラシー　技術評論社
涌井良幸、涌井貞美著：初歩からしっかり学ぶ実習統計学入門　技術評論社

【成績評価方法】

演習課題、レポート（70%）、プレゼンテーション（20%）、受講態度（10%）により総合的に評価します。

【学生へのメッセージ】

レポート作成や発表等において必要となるワード、エクセル、パワーポイントの基礎知識を身につけてください。
またインターネットやSNS利用における情報セキュリティ対策や個人情報保護について理解を深めてください。